

◆ 研究部の人事異動

- ◆ 研究部教員の着任（4月1日付）
寺村裕史（てらむらひろふみ）が文化資源研究センターの助教として着任しました。
 専門は文化情報学／情報考古学。日本（主に古墳時代）、ウズベキスタンやインドなどをフィールドに、文化資源のデジタル化・情報化の研究、GISを援用した歴史文化研究を主なテーマにしています。
- ◆ 機関研究員の着任（4月1日付）
戸田美佳子（とだ みかこ） [文化資源研究センター]
 アフリカ中部のカメルーンやコンゴをフィールドに、障害者に関する人類学的研究をおこなっています。
永田貴聖（ながた あつまさ） [先端人類科学研究部]
 専門は文化人類学、移民研究。日本、韓国に住むフィリピン人移住者の社会関係を研究しています。
八木百合子（やぎ ゆりこ） [研究戦略センター]
 専門は文化人類学、アンデス民族学。アンデス地域の宗教や文化の動態の調査研究をしています。

◆ シンポジウム

- ◆ 《フォーラム型情報ミュージアム・プロジェクト》国際ワークショップ「資料熟覧—資料熟覧のためのソースコミュニティ 招聘プロセスと人類学的ドキュメンテーションの検討」
 日時：2015年4月16日（木）～4月17日（金）
 企画：伊藤敦規 →詳細 26 頁
- ◆ 公開フォーラム「タイムマシンとしてのアステカのモニュメント—考古学的石碑の新しい解釈」
 日時：2015年6月2日（火）
 企画：鈴木 紀

◆ 企画展

- ◆ 岩に刻まれた古代美術—アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン
 会期：2015年5月21日（木）～7月21日（火）
 場所：国立民族学博物館 企画展示場

◆ 刊行物

- 『「ホーホー」の詩ができるまで—ダウン症児、こころ育ての10年』信田敏宏著、2015年3月、出窓社。
- 『いのちはどう生まれ、育つのか—医療、福祉、文化と子ども』道信良子編著、2015年3月、岩波書店（岩波ジュニア新書）。（共同研究成果）
- 『アフリカン・ポップス！—文化人類学からみる魅惑の音楽世界』鈴木裕之・川瀬慈編、2015年3月、明石書店。
- 『インド染色の現場—つくり手たちに学ぶ（フィールドワーク選書12）』上羽陽子著、印東道子・白川千尋・関雄二編、2015年3月、臨川書店。
- 『シベリアで生命の暖かさを感じる（フィールドワーク選書13）』佐々木史郎著、印東道子・白川千尋・関雄二編、2015年3月、臨川書店。
- 『中国社会における文化変容の諸相—グローバルの視点から』（国立民族学博物館論集3）韓 敏編、2015年3月、風響社。（共同研究成果）
- 『近代社会における指導者崇拜の諸相』（SER No.127）韓 敏編、2015年3月、国立民族学博物館。
- Культурное наследие бурят, эвенков и семейских: Предметы материальной и духовной культуры из коллекций Этнографического музея народов Забайкалья (Республика Бурятия, Россия)* (SER No.128) Шагланова Ольга А., Сасаки Сиро (ред.) 2015年3月、国立民族学博物館。
- Asian Museums and Museology 2014: International Workshop on Asian Museums and Museology in Thailand* (SER No.129) Naoko Sonoda, Kyonosuke Hirai and Jarunee Incherdchai (eds.) 2015年3月、国立民族学博物館。
- 『身体でみる異文化—目に見えないアメリカを描く』広瀬浩二郎著、2015年4月、臨川書店。（共同研究成果）
- 『極北の大地・グリーンランドの夜明け—THE FIRST STEPS』ヌカ・K・ゴッツフレッセン作・画、沢広あや訳、岸上伸啓監修、2015年4月、清水弘文堂。

◆ 受賞

立川武蔵名誉教授 瑞宝中綬章受章（2015年4月29日）

◆ 学術協定

追手門学院大学と学術交流協定を締結（2015年4月28日）